

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年3月21日

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備 (防災・安全)							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	寝屋川市									
計画の目標	<p>本市は、平成24年8月14日豪雨被害を受けて、浸水対策として本市の公共下水道雨水事業の古川雨水幹線整備事業及び高宮ポンプ場の整備を進めるとともに、内水ハザードマップを作成、公表し市民等に浸水に関する情報提供等のソフト対策を実施します。併せて公共下水道管渠の継続的な維持管理を実施するにあたり、萱島地区及び木田元宮地区における下水道長寿命化計画を策定し、計画的な改築更新を進めます。また、本市の重要な下水道施設である南前川ポンプ場の耐震化を進めます。</p>											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道長寿命化計画を策定し、改築更新事業を実施する。 ・雨水整備を進め、雨水浸水対策を進める。 											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)						
長寿命化計画(萱島地区)の改築進捗率 (%)				0 %	14 %	64 %						
改築延長 (m) / 計画改築延長 計画延長 2,762m												
雨水対策整備率												
雨水対策整備面積 (ha) / 雨水対策計画面積 (ha) 計画面積2384 (ha)				32.1 %	32.1 %	32.2 %						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,440.百万円	A	3,440.百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
1-A-6	下水	一般	寝屋川市	直接	—	雨水施設計画策定	A=2,384ha	寝屋川市						26	—		
1-A-7	下水	一般	寝屋川市	直接	—	長寿命化計画 (萱島地区)	計画策定、実施設計、改築更新	寝屋川市						190	—	策定済	
1-A-8	下水	一般	寝屋川市	直接	—	古川分区設計	A=486ha、計画策定、実施設計	寝屋川市						80	—		
1-A-9	下水	一般	寝屋川市	直接	—	秦高富分区・小路分区設計	A=104ha、計画策定、実施設計	寝屋川市						222	—		
1-A-10	下水	一般	寝屋川市	直接	—	高宮ポンプ場事業	用地 3900㎡、ポンプ場建設、管渠	寝屋川市						2,460	—		
1-A-12	下水	一般	寝屋川市	直接	—	長寿命化計画 (木田元宮地区)	管調査、計画策定	寝屋川市						53	—	未策定	
1-A-13	下水	一般	寝屋川市	直接	—	南前川ポンプ場耐震化事業	耐震診断、実施設計	寝屋川市						32	—		
1-A-14	下水	一般	寝屋川市	直接	—	神田分区整備事業	管渠	寝屋川市						26	—		
1-A-15	下水	一般	寝屋川市	直接	—	東神田分区整備事業	管渠	寝屋川市						321	—		
1-A-16	下水	一般	寝屋川市	直接	—	ストックマネジメント計画	A=2,384ha	寝屋川市						30	—		
小計												3,440					

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計												0					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

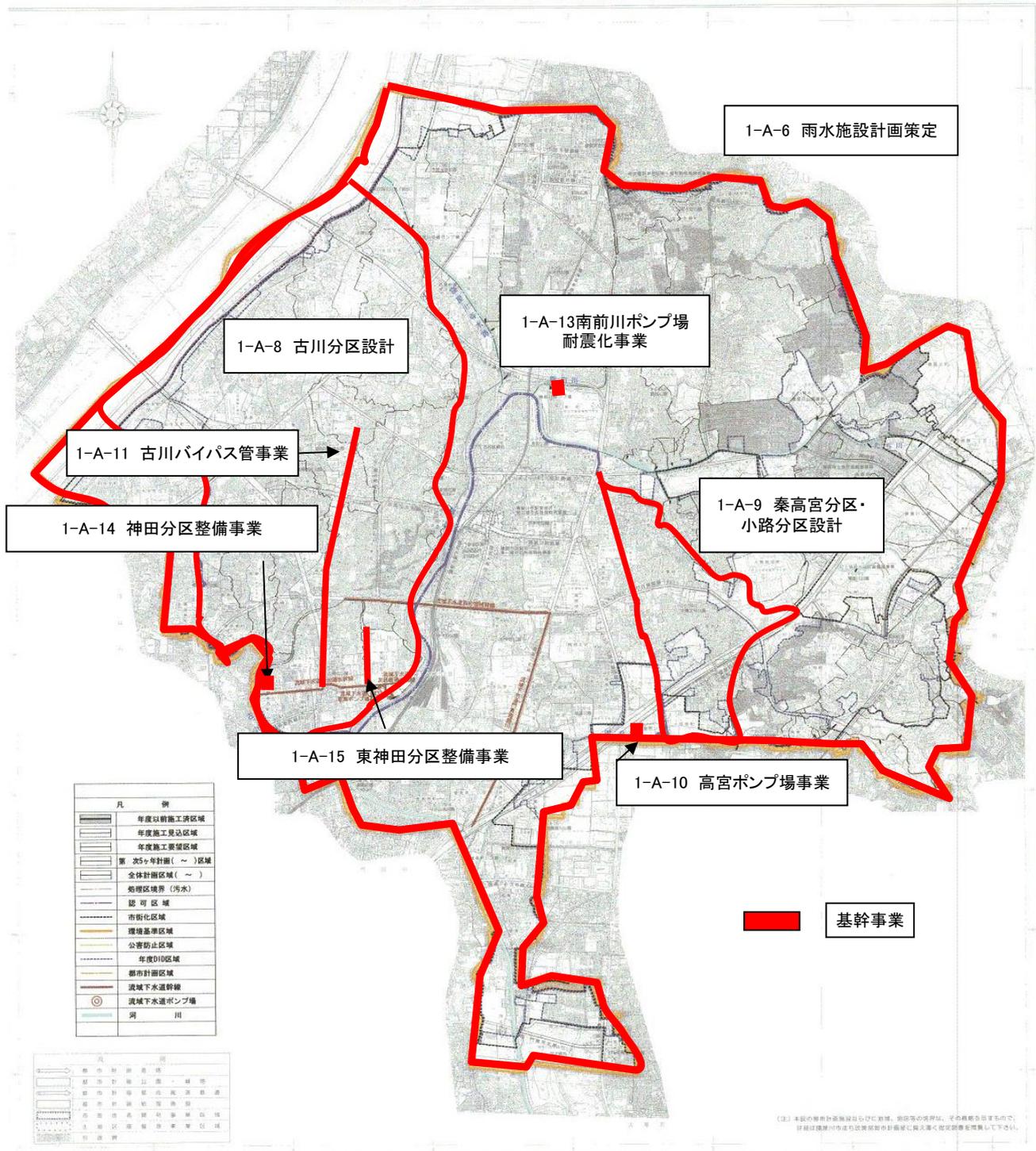
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	27	299	461	494	0
計画別流用 増△減額 (b)	7	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	34	299	461	494	0
前年度からの繰越額 (d)	0	0	29	213	256
支払済額 (e)	34	270	277	451	256
翌年度繰越額 (f)	0	29	213	256	0
うち未契約繰越額 (g)	0	29	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式 3)

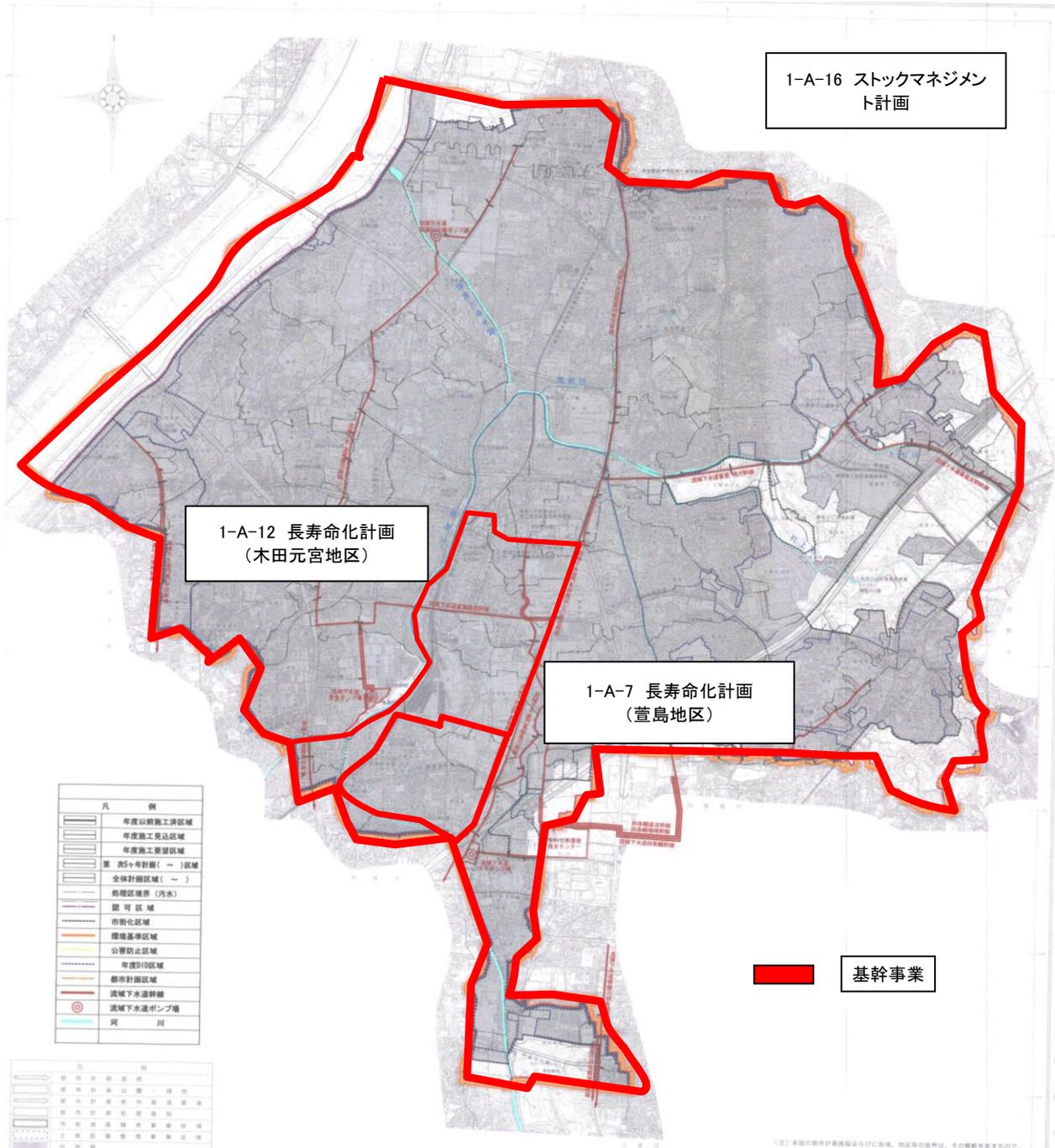
計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備 (防災・安全)		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	寝屋川市

寝屋川都市計画下水道図 (雨水)



(参考様式3)

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	寝屋川市



【注】本図の都市計画区域線は凡例に示す通り、当該市の境界は、その幅員を若干変化した。

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 寝屋川市公共下水道の整備(防災・安全) 事業主体名 寝屋川市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
④事業効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○